

海外安全対策情報（令和7年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表の犯罪資料報告によると、パラナ州における2025年の殺人事件の発生件数は1,183件（前年比27.0%減）。クリチバ市における2025年の殺人件数は185件（前年比6.9%増）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は10.1件で、日本の0.79件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2025年の麻薬の密輸・密売件数は、13,934件（前年比4.1%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、12,422件（前年比12.9%減）であった。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市及びその周辺都市においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州は、コロンビア、ボリビア等で生産された麻薬（大麻、クラック、オキシ等）がパラグアイを経由して流入するルートとなっており、麻薬組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（令和7年度第4四半期）

- (1) 2026年1月27日午前4時30分頃、クリチバ市ボケイロン地区（Boqueirao）のナウチコ公園（Parque Nautico）で銃撃戦が発生。警察官が同公園内で住宅侵入など連続窃盗事件の容疑者の男に職務質問を行ったところ、銃撃戦となり、容疑者の男は死亡した。また、翌28日午後11時50分頃、同公園付近で強盗事件が発生。2人組の強盗が帰宅途中の28歳男性に近づき、強盗を働いたところ、男性が抵抗したため胸部に銃撃を受け、男性は病院に搬送された。
- (2) 2026年2月28日の18:50頃、クリチバ市内のタングア公園（Parque Tangua）付近の駐車場で強盗・誘拐未遂事件が発生。3人組の男が50歳の男性に近づき、そのうちの1人が大型の聖書の下に拳銃を隠し持っており、別の1人はナイフで脅した。3人組は被害者の車両に被害者を押し込もうとしたが、抵抗したた

め、被害者が連れていた犬を後部座席に乗せたまま車両を盗み逃走した。